

令和元年度総合座談会での意見・要望に対する回答書

令和元年度総合座談会を、9月24日から10月1日までの6日間、市内63ヶ所で開催しました。座談会では出された意見・要望に対する回答を掲載します。

◎担い手支援課

問 以前から「所得アップGO!GO!テン」運動の取り組みが行われているようだが、それが実現できているのか。(末永、池島)

答 継続的に活動を行っておりますが、実現には時間を要するものもあります。当JAも、自己改革の取り組みとして飼料銘柄集約等を行い、コスト削減への取り組みを行っております。今後も、農業所得向上実現のため、継続し取り組んでまいります。

問 アグリサポーター(花嫁、花婿対策)について、今ほどのような取り組みをしているか。テレビやマスコミ、タレント等を活用し大々的にすれば良いのではないか。また、今までの実績は。(駅前・倉元・元地原・神社原・梨園)

答 年1回程度交流会を実施しています。平成30年はストロベリー

ーナイトツアーと題しイチゴ狩り体験を含んだ交流会を行いました。それ以前には球磨川でラフティング交流会を開催しております。当事業を通じ1組が結婚されました。
テレビやタレントの活用については、かなりの費用を伴うためそこまでの取り組みに至っていません。

問 農業者の高齢化が進んでおり作業ができなくなっている。例えばアグリランド田の神さあで栗園の草刈などができないか。(東原田)

答 現状では対応が難しいです。今後、労働者の確保等がすめば、将来的には拠点の増加を行うといった計画もありますので検討いたします。

問 アグリランド田の神さあが、WCS用稲の穂が出ないうちに刈り取りをしていたようだが、早く刈りすぎではないのか。稲刈りが忙しいのは分かるが、増員して稲刈り班、WCS用稲班と分けて作業はできないのか。(末永、東川北、上島内、今西)

答 天候・作業工程を考慮して出穂直後の作業になりましたが、出穂を確認してから刈り取りを実施しています。作業機械・労

働力の確保ができれば、水稲とWCS用稲の刈り取りの同時進行を検討していきたいと思えます。

問 アグリランド田の神さあが借地している水田の水管理が悪く、特に大雨の際には同水系下流の水田に迷惑をかけている。(田代)

答 天候や水田の状況を考慮した管理を行うよう指導いたします。

問 アグリランド田の神さあが委託で作物を作っているが、畦の草払い等の管理が行き届いていない。模範にならず、周りに迷惑をかけている。(永山)

答 圃場が市内各地に点在しておりますので、畦払いについてはシルバー人材センターを活用し実施しております。管理については注意してまいります。

問 イチゴ団地は現在2名が独立しているが、今後の状況はどうか。また、イチゴ団地は計画通りに行っているのか。(出水、上上江、中島、東川北)

答 現在、新たな入植候補者と入植へ向けた協議を行っております。今後とも入植者・研修生の確保に努め担い手の育成を図りたいと思えます。

問 耕作放棄地はどのように対処されているのか。(溝ノ口)

答 市と協議してまいります。

問 鳥獣対策用の柵等を導入するに補助事業はどういうものがあるか。また、JAも積極的に参加してほしい。(西内、坂元)

答 市で(1)鳥獣保護区等周辺被害防止対策事業 (2)中山間地域所得向上支援対策事業を行っております。(1)については個人で申請できるもので、電気柵のみとなります。(2)



9月24日 駅前・倉元・元地原・神社原・梨園



9月24日 坂元

については3戸以上で申請していただくもので、柵等の設置は申請した方々で行わなければなりません。詳しい内容については市役所にお問い合わせください。また、JAではえびの市鳥獣被害対策実施隊への活動助成を実施しております。

問 近所にUターンでの就農希望者がいるので、相談に乗ってほしい。(白鳥)

答 対応いたします。

問 後継者対策に具体的に取り組んでほしい。農業で食っていきけるような魅力的な良い品目を見つけて、新規就農者等を確保してほしい。子牛など畜産の状況

は良いが、野菜を作る後継者がいない。行政と協力して先見のな取り組みをしてほしい。(杉水流、大溝原)

答 後継者・担い手対策の一環としてえびの市イチゴ団地を建設し、新規就農者の確保育成を行っております。ほかにも後継者が地域に残ってくれるような農家所得の向上に向けた取り組みを県連や行政と一体になって進めています。

新しい品目については経済連等と協議します。また安定基金等の活用により就農者の所得の確保に努めます。

問 農業労災の「特定農作業従事者」と「指定農機作業従事者」はなにが違うのか。(上向江)

答 「指定農機作業従事者」は、動力を用いた機械作業にてけがされた場合に対象となります。「特定農作業従事者」は機械作業でのけがのほかにかまどとの接触や高所からの転落などのけがにも対応します。

問 農業労災の加入率が低いのは掛金が掛け捨てであるうえに高い料金設定となっているためと思われ。加入しやすい掛け金にしてほしい。また、農業労災の掛金は男女一緒か。(上向江、北岡松)

答 指定農機作業従事者の月額5千円タイプに加入した場合、年掛金は約7千円です。また、掛金は性別や年齢も関係なく一

律であり、給付日額に応じて設定されます。

律であり、給付日額に応じて設定されます。

問 以前けがをした時に、農業労災に加入していたにもかかわらず対象外となった。保障内容がよくわからない。(北岡松)

答 加入された内容(特定農作業・指定農機)によって保障される範囲が異なります。また、怪我をされた場所や怪我をした経緯などにより対象の可否を労働基準監督署が判断いたします。今後は、今まで以上に理解しやすい十分な説明をいたします。

問 農地保全について説明してほしい。(坂元)

答 農家の高齢化・後継者不足により、作付けされない農地が増加傾向にあります。JAでは農地集積団滑化団体として農地賃借の斡旋をしていますが、法改正に伴い令和2年3月末で事業終了となります。

なお今後とも行政と連携し中間管理事業による農地の賃借の斡旋等中核農家(認定農業者)のサポートに努めてまいります。

問 各地域で畑かん事業が進み、基盤整備ができてきている中で、10年後、若者が農業に取り組みたいと思うビジョンを示してもいいと思います。また、販売面についてもお願いしたい。(中島)

答 普及センターと協議、検討しながら、えびのに適した品目や

安定した所得が確保できる品目の提案を目指します。

問 ドローンの価格は200万円程度と聞くが、購入に際して行政が2分の1程度補助をしてくれる。そういう事業についても広報等で周知してもらいたい。(上浦)

答 令和元年に市が発行した「わかりやすい予算書」に「担い手対策推進事業(スマート農業推進事業)」が掲載されています。認定農業者・認定新規就農者・集落営農法人等を育成支援するもので、これを利用してドローンの購入ができると思います。

◎畜産課

問 畜産課の事務専門職(補助事業や書類整理)の体制を整えて、指導員の負担軽減に努め、現場の技術指導に専念させてほしい。(高野)

答 畜産課の中でも事務処理を中心とした業務を行っている職員もいますが、畜産課に限らずJA全体で人員不足であるのは確かです。募集を行っておりますが、なかなか人が集まらないのが現状です。

問 畜産指導員の夜間や休日の業務・行事が多すぎるのではないかと。できるものは削減したり集



9月24日 東原田

いのが現状です。現在は、既存の畜産農家へ増頭をお願いし、頭数を確保しています。

問 和牛繁殖センターへWCSを供給しているが、繁殖センターではまだ必要なのか、足りているのか。(飯野町・麓)

答 和牛繁殖センターでは、まだ不足しているため、受入可能です。

問 和牛繁殖センターでの妊娠牛譲渡会の抽選方法の変更を検討してほしい。(大明司、東長江浦下、南岡松)

答 検討いたします。

問 和牛繁殖センターが契約しているWCSの面積を教えてください。(出水)

答 繁殖センターが契約しているWCSの面積は7・6haです。

問 和牛繁殖センターの雇用は計画通りなのか。(東川北)

答 計画通りの雇用ができています。

問 和牛繁殖センターの事故率、受胎率は。(末永、南岡松)

答 令和元年10月31日現在で事故率は10・8%、受胎率は95%です。事故率軽減と受胎率向上に努めてまいります。

問 各事業所に行くとき踏込消毒槽に消毒液がないがどうなっているのか。(永山)

答 消毒液がないところについては補充を行うように徹底します。

問 農家所得が向上すれば新規就農者も増えるので、えびの子牛のセリ価格をさらに上げていただきたい。そのため施策として一番は高育種価・ゲノム育種価だと思いが、えびの・宮崎は進んでいないので、そこを打開してほしい。(高野)

答 県内統一して取り組み内容です。ので要望をあげていきます。

問 育種価の数値の計算方法が難しい。また数値とセリ市名簿の評価点が一致しない。(高野)

答 育種価の数値は母牛と種牛の評価や数値を掛け合わせた期待値のようなものです。複雑な計算式なので評価点と一致しないのでないかと考えられます。

問 登録協会の待っている育種価のデータとゲノム育種価を行って出た数値はどちらが正しいのか知りたい。また、その正しいデータが欲しいので、そういった取り組みが行えるようJAA側から県に打診してほしい。(高野)

答 西諸畜連を通じて、県に伝えます。

問 郡子牛品評会で審査する審査員は畜連や登録協会の人員などに絞ったほうがよいのではないのか。(大明司)

答 ご意見としてお繋ぎしてまいります。

ります。

問 他郡は県外種雄牛母体でも品評会に出せるが、西諸市場では県外の種雄牛母体は出せないこととなっている。それなのに県指定の県外種雄牛母体の子牛を品評会に出せるのはなぜか。(永山)

答 西諸市場の評価を高めるために西諸畜連の技術員会等で決めています。

問 牛の耳標の再発行は申請してからどのくらいで来るのか。(山内)

答 申請してから3週間程度かかります。

問 牛の耳標を再発行申請してから4か月ぐらい経過して電話をしてやっと付けに来たと聞いたが、どうなっているのか。(山内)

答 今後、このようなことのないように改善いたします。

問 輸入牛肉の関税が下がるが、今後、価格に影響はありそうか。(西長江浦上)

答 関税は段階的に下がっていくので、すぐには影響は出ないと考えます。

問 品評会の優等などに助成金が支払われているが、その牛のその後の経過はどこまで把握しているのか。お金だけあげているようなものでないか。(西川北)

答 品評会の優等などに助成金が支払われているが、その牛のその後の経過はどこまで把握しているのか。お金だけあげているようなものでないか。(西川北)

答 導入・保留については、保留期間等の契約を締結しておりません。今後も管理指導等行っておりません。

問 BLは受け入れ先を決めてから始めるべきであった。単独で行い競合しないため、価格が伴わない。(西川北)

答 陽性牛については、受け入れ先を決めてから事業を行っております。価格は、関係機関立ち合いのもとで評価していますのでご理解ください。

問 子牛の安定基金は余っているはず。その分は肥育に回してもらえないだろうか。生産農家は肥育農家がいないとやっつけけない。肥育農家をカバーするべきである。(西川北)

答 事業内容が違うため、子牛の安定基金を肥育農家に回すことはできません。JAとしても引き続き肥育農家を支援してまいります。

問 宮崎牛の定義が改正され宮崎牛新定義と新たにルールが変わった。このようなことがあってはいけないと思うが、JAとしてはどう考えるのか。(京町)

答 2017年の宮崎牛の定義の改正で「宮崎生まれ・宮崎育ちの黒毛和種で、肉質等級が4等級以上のもの」という条件に、新たに「県内種雄牛、もしくは他家畜改良のため指定された種雄牛を一代祖にもつもの」が追加

◎農産園芸課

されました。「宮崎牛」としての販売力が高まったと考えます。

問

平成30年、硫黄山の影響で水稲作付を行えなかった地域のうち、今年は作付け可能になった地域があると聞いたがどのあたりか。(白鳥、北昌明寺)

答 自動閉門システムの導入により堂本頭首工からの取水が可能となったため、同水路から用水を確保する圃場の水稲作付けが可能になりました。同水路は下島内・京町・上向江・下浦・柳水流・亀沢を通って湧水町、そして川内川へとつながっています。

問

平成30年度に硫黄山の影響で水稲作付けができなかった地域の中で、令和元年度から作付けが開始された圃場があるが、風評被害が心配である。堂本水路からの稲は成分分析など行うのか。(池島、下島内)

答 平成30年と同様に市と連携した水質・土壌・収穫物の検査を行い、安全を担保したうえで、消費者へ向けて安全・安心をPRしてまいります。

問

硫黄山に関して、これまで県や市、JAにさまざまな対策をしてもらったが、環境大臣にも

答 現地を見てもらい、更なる対策を打ってほしい。(池島)

問 県・市と協調しながら国への要望も継続的に行ってまいります。

問

行政の説明では、令和元年度は長江川水系でも取水ができるとの説明があったが、まだ赤子川水系からの取水はできないため、上浦地区では水稲作付けができない状況が続く。手厚い支援策を考えてほしい。(上浦)

答 赤子川の水質については、水稲に利用できる水準には達しておらず、代替水源の可能性について行政と地域の方々との間で協議を進めていると聞いています。JAでも代替品目の提案等、

問 関係機関と協力しながら取り組んでまいります。

答 硫黄山の影響で、平成30年に続き令和元年度も米が作れない状況があったが、JAからの対策はあるのか。(中浦)

問

平成30年度にJAから見舞金を受けた方々の中で一定の要件を満たす方について、水稲苗・種子の供給実績の一部に対する助成を計画しています。

問

年によって水稲苗の出来にばらつきがあるので、しっかりと苗つくりをしてほしい。(池島、下浦)

問

栽培基準・計画に沿った管理を行っておりますが、さらに納得いただける苗つくりに取り組みたいです。

問

飼料稲の苗と食用米の苗を申し込む時期が違うので、同時に注文できるようにならないか。(鍋倉・吉牟田)

答 主食用と飼料用の苗を同時に受け付けた場合、苗の種類や枚数の勘違いなどの誤記入が想定されます。

問 飼料用稲については現行のとおり転作計画を確定されるころの予約受け付けとさせていただきます。

問

水稲苗代と肥料代の引き落とし日が違うので、統一してもらえないか。(上大河平、牧原)



9月25日 今西

今後、検討します。

稲作振興会の役員をしているが、文書配布などが大変である。(上浦)

役員の方々にご苦労をおかけいたしますが、今後もより良い振興会運営に努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。

令和元年度のトビイロウンカ(秋ウンカ)の発生状況や傾向、防除情報の周知・指導はどのように行ったのか。(東原田、大司、白鳥、前松原、池島、東川北、南昌明寺)

8月19日の予察警報を受け、8月22日に緊急の稲作振興会部会長会を開催し、各自治会へ早急な防除の必要性の周知をお願いしました。また、8月末に坪枯れを確認した際にも即日2回目のチラシ配布と啓発をお願いしております。

その他、JAの各事業所にも現状と防除啓発資料の掲示、広報車を用いた広報活動を行いました。

トビイロウンカ(秋ウンカ)の生態について教えてください。(上上江、南岡松、北昌明寺)

毎年中国大陸より梅雨前線に乗って飛来する害虫です。1世代は約25〜29日間で卵、幼虫、成虫と成長し、これを3世代ほど繰り返し返します。特にトビイロウンカ(秋ウンカ)は同じ株元



9月25日 上上江

で世代交代を繰り返すため、被害が円状に拡大するのが特徴です。被害を受けた稲は最終的には枯死(坪枯れ)してしまいます。今後も効果的な防除体系の確立に取り組んでまいります。

無人ヘリ防除は効果があるのか。また、卵には効果がないのか。稲こうじ病にも効く農薬も散布してほしい。(上上江、大迫・霧島・妙見、亀沢)

ヘリ防除は、通常の年であればしっかりとした効果が期待できます。ただ、令和元年度の場合はウンカの飛来数および飛来回数が特に多かつたため、通常の防除を含め不安定な部分がありました。

卵に効果のある薬剤は今のところありません。また、稲こうじ病に対応するヘリ散布用の登録農薬もないのが現状です。

日南の海岸端は、ハウス施設がたくさんあるが、えびの市はないのでハウス施設を作ってほしい。(永山)

JAでは畦倉地区の畑かんを利用したえびの市イチゴ団地の建設など、新規参入者受け入れの体制整備に取り組んでいます。県沿岸地域との環境差はありますが、当地の環境に合った品目の拡大・普及に取り組んでまいります。

品目によって十分な巡回指導があるものと思うものがある。(松原)

緊急的な対応や担当の対応力の幅を広げるために1品目2名体制に取り組んでいます。基本的には主担当が中心となって活動を行いますので、それぞれの巡回頻度につきましては指導してまいります。

食味コンクールを行っているが、市内で米の味が違うのか。(上大河平)

米づくりの考え方や管理の方法によってお米の味は変わります。JAでは良食味につながる栽培指導を行っています。

令和元年度の1等米比率はどのくらいだったのか。(中上江、栗

下) 令和元年度の等級比率は1等米8・6%、2等米83・9%、3等米7・2%、規格外0・3%という結果でした。

平成30年10月後半に米の等級が落ちたのはなぜか。(上上江)

刈遅れによる玄米の品質低下等が原因と思われます。

心白・乳白が発生しやすい温度は何度か。(上上江)

出穂から20日間程度(登熟の初期)の期間に1日の平均気温が27℃、最高気温が32℃、最低気温が23℃以上を上回る日が連続すると発生しやすくなる傾向があります。

米の検査でカメムシ被害粒がどれだけ入っていると等級が落ちるのか。(上上江)

検査用のカルトン(約1000粒)の中に1粒までが1等米、3粒までが2等米、8粒までが3等米という基準があります。

同じ圃場で、2日にかけて米を持って行ったが、等級が違っていた。なぜか。(大迫・霧島・妙見)

農産物検査は抽出検査方式で行いますが、同じ圃場の中でも生育に差がある場合もありますので、ご理解いただきたいと思います。

問 令和元年度の米の作柄は。(池島)

答 えびのを含む広域霧島地帯の作況指数は92の不良でした。

問 毎年、食味コンクールを開催しているが、米は出荷時期によっても食味値が変化するか。(東長江浦下)

答 刈遅れや時間経過によって玄米水分や酸化等が変化するため、食味値は変動する可能性があります。

問 青米があった方が食味・香りが良いと聞いたが、昔は等級が下がると聞いたことがある。今でもそこは変わらないのか。(亀沢)

答 農産物検査の基準自体は以前と変わりありません。ただ、適期の刈取りを行った場合は少々の青未熟粒はあるはずですし、炊きあがりの香りも良いと思われれます。

問 ウンカ等の被害が大きい状況では米の等級が下がるのではないか。(山内)

答 ウンカの吸害によって籾への養分供給が進まないことが予想されますので、玄米の充実度に影響が出ると思われれます。

問 令和元年度の米の比率はどういう状況か。(上大河平)

答 令和元年度が8・6%、平成30年度が42・1%、平成29年度

が54・4%、平成28年度が38・7%、特Aを獲得した平成27年度が80・2%でした。

問 里芋は疫病の影響もあり、品質が落ちてきている。米のように等級をつけて価格差を出した方がいいのでは。(上上江)

答 米については国の定める農産物検査規格がありますが、原料用里芋にはこのような定めがありません。また、検査を行うには体制の整備など課題が多いと思われれます。

問 市とJAで疫病対策の農薬助成をおこなっているが、引き続き助成を継続してほしい。(東長江浦下)

答 JAでも検討し、行政へも要望してまいります。

問 平成30年は里芋価格が暴落したが、今年品質・価格ともに割と安定している。その要因は。(白鳥)

答 品質においては、今年は大肥期に雨が少なくなりかつかりとした茎葉が形成されたことによる環境的な要因と、生産者皆さまの徹底した防除によるものだったと思います。価格面が安定したのは愛媛産里芋の生育・出荷時期が遅れたことによるものと考えられます。

問 温暖化で気温が高くなっているのに、米の耐暑性品種の開発や導入に取り組んでほしい。特

Aを取得している産地は耐暑性品種が多い。ヒノヒカリに替わる品種の検討をした方がいいのでは。(五日市、南昌明寺、上上江、今西、大迫・霧島・妙見)

答 県の試験場において高温耐性を持つ新品種の研究が進められています。現時点で即、産地へ普及できるものはない状況です。

問 特Aの取得について、毎年特Aを取得できるような指導、地域と連携した取り組みをしてほしい。(東原田)

答 常に特A評価をいただけるよう取り組みでまいります。

問 ヒノヒカリで特Aを獲得しているところはあるのか。特A獲得を頑張ってください。(鍋倉・吉牟田)

答 平成30年産のヒノヒカリで特Aを獲得した県は香川、福岡、大分、熊本の4県です。

問 特Aの試験圃場はどこにあるのか。(坂元、榎田)

答 飯野地区4か所、加久藤地区3か所、真幸地区3か所の合計10か所です。

問 水田センサは市内に何箇所設置され、そのデータはどのように指導に活かされているのか。(飯野町・麓、東川北)

答 水田センサは市内6か所に設置しております。現在は、デー

タの蓄積を行っている段階で主に収穫適期の予測等に活用されています。水田センサから得られる情報は気温、湿度、水温、水深の4つです。

問 伊佐地域では連続して特Aを取得しているが、えびのが続かないのはなぜか。(上大河平)

答 えびので栽培されているヒノヒカリは登熟期の高温によって品質に影響を受けやすい品種ですが、県内外からは食味の良さで評価をいただいております。今後も特A評価を受けるような取り組みでまいります。

問 米の特A獲得を目指す理由を教えてください。(中島)



9月25日 上大河平

問 日本穀物検定協会が行っている米の食味ランキングの評価は全国的な産地の評価として位置づけられています。特Aを獲得した際のPR効果は大きなものがありますので今後も取り組みを進めてまいります。

問 熊本県菊池地域では特Aを続けて取得しているが、えびのとの違いはあるか。(東長江浦上)

答 熊本県菊池市はえびの市に近い気象条件ですが、前作との関係で田植えの時期が6月20日以降となっているようです。これが登熟期の高温を避けられる要因となり、品質が安定しているとの報告があります。

問 えびの市では小麦は作らないのか。(永山)

答 以前は作付けがありましたが、小麦は排水対策が重要で特に梅雨入り前までの収穫がポイントとなります。梅雨入りが早い南九州では検査規格のクリアなど課題が多い品目です。

問 水稲の一斉防除はできないのか。(杉水流、東原田)

答 無農薬・特別栽培等の方もあることから難しい面はありますが、本年度の状況もふまえながら防除の必要性については周知してまいります。

問 近年、加工米・飼料米の作付けが多くなっており、多収量品

種が求められているので、ヒノヒカリとにこまる以外の多収量品種を取り扱ってほしい。(末永)

答 主食用以外の用途に向けられるものについては多収性が求められるので、今後ご提案できるような品種を検討してまいります。

問 稲こうじ病の防除方法について教えてほしい。(田代)

答 圃場に残った菌が次作で感染して発症するもので、出穂前の銅剤散布が有効とされています。近年問題となっている病気ですので対策を検討してまいります。

問 以前勧められていた6月20日田植えは適期だったのか。(南昌明寺、北岡松、池島)

答 秋ウシカの傾向をみると、本年度は早植えの圃場に被害が偏っているようです。また、高温障害の対策としても6月下旬田植えの方がそのリスクは低くなっています。以前の取り組みがなくなったのは、年によって気象等の傾向が違うことによる結果が安定しなかったことによるものです。

問 現在、基盤整備の話があり、仮同意しているところだ。今後、米作りの指導等JAにも協力してもらいたい。(飯野町・麓)

答 裏作での品目も含めて協力してまいります。



9月26日 永山

問 稲刈りを早めるようにと聞いたが、何か理由があるのか。(上大河平)

答 えびの管内の刈取り時期は刈遅れの傾向がみられますので適期の収穫をお願いしています。また、ウシカの被害にあった圃場や倒伏した圃場については品質が低下する前の刈取りを指導しています。

問 刈取時期を積算温度で判断というが、圃場によってできが違ふと思うのだが。(中上江)

答 水稲の生育は圃場の違いによる地質(排水性)や地力(肥効性)などにさまざまな影響をうけますが、ヒノヒカリの穂の登熟(期間)は積算温度で判断い

たします。

問 稲作の基本的な作業や管理の勉強会を行ってほしい。(加久藤麓)

答 稲作だよりでの管理の案内に加えて育苗講習会や水稲現地講習会などの開催を行っております。その他についてはJAの担当者までお問い合わせください。

問 積算温度の考え方について教えてほしい。(東長江浦下)

答 圃場の半分程度の穂が出た日以降の日々の平均気温を積算した合計が950度から1050度になったところが刈取りの目安です。日数では40〜45日程度でこの温度に達します。

問 園芸指導員を増やしてほしい。一人で複数の部会を持つているため、十分な巡回指導が難しいのだと思う。(芋畑)

答 指導員の増員は難しい部分があります。現在の人員で満足いただけるような指導体制を検討し、効率の面も含めて改善できるような取り組みをまいります。

問 部会のない品目には手厚い指導はしてもらえないのか。(西郷)

答 特にJAに出荷していただく品目については適期管理を指導することが必要です。今後は、担当ごとに必要な講習会・目揃え会等を計画的に行うよう指導



9月26日 山内

いたします。

問 部会などで色々と意見や要望を上げてきたがなにも変わらな
い。(尾八重野)

答 組合員の皆さまからいただいた意見・要望に関しては、何らかの結果や方向性について検討させていただいておりませんが、期待に沿えない場合もござい
ました。今後についてもJA内部のみならず、関係機関の協力も得ながら意見、要望に応えられ
るよう取り組んでまいります。

◎販売課

問 八代日儀兵衛主催の日本の米
8選にえびの米は選ばれている
が、道の駅でもPRが足りない
のではないか。(上・中原田)

答 道の駅内では米を正面に配
置し、えびの特産品であるこ
とを強調し、またホームページ
でも情報を発信しPR活動を行
っています。今後もえびの市と
連携しながら一層のPR活動を
実施してまいります。

問 近年、米の等級が2等米中心
になっている中で、1等米と2
等米の価格差を縮めたのはいい
ことである。(五日市、中上江、
東長江浦下、大溝原)

答 作柄状況などを加味し、令和
元年産よりJA独自で格差是正
を行っております。

問 業者は8千円程度で買われる
と聞か。 (山内、杉水流)

答 業者は、必要数量を確保する
ためにJAより価格を上げてス
ポット的な買取を行っているよ
うです。

問 えびの市内で作付けされたヒ
ノヒカリの価格はどこも同じか。
(東長江浦上)

答 JAでは、えびの産ヒノヒカ
リとして各卸しおよび量販店へ
販売をしていることから、ご理
解をいただきたいと思います。

問 硫黄山噴火後(平成30年)作
付面積が減ったのに平成29年よ
り集荷量が増えているのはなぜ

か。また、集荷対策はなぜこの
内容なのか。(池島)

答 米の取引先に迷惑をかけない
ように供給しなければならな
いため、平成30年は、平成29年産
の出荷実績を基に出荷増分に対
して1袋当たり300円の加算
金の設定したほか、平成28年産
から大口出荷対策として200
袋以上・500袋以上の出荷に
対して助成を行うなどの集荷努
力を行った結果、平成30年産は
約6万5千袋を出荷いただきま
した。

問 米の出荷は、杉水流と湯田の
どちらのライスセンターに出荷
すればよいのか。(上大河平)

答 作付した地域によって出荷場
所が変わることはなく、飯米が
ある場合は杉水流ライスセンタ
ー、全量出荷される場合は湯田
ライスセンターへ出荷をお願い
しています。

問 現在、米の出荷については30
kgの紙袋だが、フレコン出荷へ
変わる話があるのか。(前田)

答 玄米フレコン出荷は、建屋お
よび設備の新設等も含めて多額
の投資が必要となります。今後
の生産形態や作付け等の推移を
予測し、糊摺り組合などと協議
しながら検討してまいります。

問 JAが集荷する米の量は管内
のどれくらいを占めているのか。
(東内登)

答 例年3割から4割ほどだろう



9月26日 白鳥

と思います。令和元年産はウン
カの被害により5万4千袋程度
の集荷量となりました。

問 屑米の買取は以前から行って
いたのか。(水流)

答 屑米の買取は、毎年行ってい
ます。1袋(30kg)に満たない
端数も受入れをいたしておいま
す。

問 振込価格につきましては、J
A広報1月号にてお知らせいた
します。

問 米を学校給食に供給している
のか。(山内)

答 学校給食へは、市と連携して
えびの産ヒノヒカ리를供給して
おります。



9月26日 池島

数の米産地として販売努力を行い、生産者所得向上を目指して取り組んでまいります。

問 令和2年産の里芋の価格を事前提示することはできないか。価格提示があれば作付けも増えるのではないか。(西上江)

答 農畜産物の価格は、需要と供給のバランスおよび気象条件によって常に変化しておりますので、事前の提示は難しいです。ご理解をいただきたいと思えます。

問 里芋の契約栽培は現在もあるのか。契約栽培を希望したが、受けてもらえなかったという話を聞いたのだが。(西郷、西長江浦下)

答 集荷の全量ではありませんが、現在も一部行っております。契約栽培は、さとも疫病によつてえびの産の評価が下がっていることや防除の遅れ等による減収が懸念される中でも確実な品質と量が求められるため、令和元年度は前年度取り組まれた方を基本に栽培いただきました。令和2年度以降の取り組み拡大については検討してまいります。

問 主食用米が全国で8万〜10万袋ほど余っていると聞いたが、えびのは在庫があるのか。(中上江、池島)

答 当該年産米は、翌年9月には毎年販売を完了しています。令和元年度も同じく、すべて販売先は決まっております。

問 米の買い取り価格について、今後天候不順等で品質低下が考えられる中ではあるが、生産意欲につながるのか、価格を維持してほしい。今後の考えはどうか。(中上江、前田、南昌明寺)

答 人口減少およびコメ消費減少が続く中ではありますが、県内有

問 大豆・そばが最近見受けられないが、大豆・そばは認定農業者でないと出荷できないのか。(出水)

答 認定農業者ではなくても出荷していただけます。なお、認定農業者であり、畑に大豆・そばの播種前契約をして作付け出荷すると、畑作の直接支払い交付金の対象となります。

問 集荷場で、段ボールを土曜日と月曜日に購入した際、月曜日に値上がりしていた。生産者への値上げの通知はないのか。(中島)

答 段ボールについては、経済連の協力により価格を維持しておりましたが、社会情勢の複合的な要因で値上げとなりました。生産者への通知なども含めて価格改定があった場合は掲示などを行い、対応いたします。

問 平成30年産のそば販売の実績はいくらか。(山内)

答 販売袋数174袋、精算金額119万3千円の実績となります。

問 令和元年度米の追加払いはいくらになるのか。(坂元、永山中上江、榎田)

答 例年、最終精算を見通して仮渡金価格を設定しておりますが、令和元年度も追加払いができるよう販売努力をいたします。追加払いをする時期は、令和

元年度の販売終了後の令和2年12月頃を予定しております。

問 現在の農家で生産した販売物のみで生活していくのはかなり厳しい状況下であり、就農意欲も乏しいのではないかと。JAとしてはどう指導力や販売力を伸ばして、農家のために頑張ってもらいたい。(下島内、尾八重野)

答 今後も、関係機関との協力体制を密にし、指導販売体制の強化を進めてまいります。また、各制度(価格安定制度・収入保険等)をご理解いただき、価格低迷時の対策も行ってまいります。

問 生産者がJAへ出荷を行なう際に、牛等の畜産物は税金が別で、野菜や米等は一緒にされていくがなぜか。(下浦)

答 消費税につきましては、慣例的な取引により、内税外税となっており、ご理解いただきたく思います。

問 ライスセンターへ持込みの際、「ヒノヒカリ」と「にこまる」が混じることはないか。対策は講じているのか。(山内)

答 品種については、米予約時および出荷時に確認を行い、異品種混合がないよう努めております。

問 ライスセンターの国道側の景観をよくしてほしい。道の駅な

どに人が多く来ているということとは景観も見られているということなので要望しておきたい。

（下島内）
答 ライスセンターにつきましては、定期的に環境整備を行っておりますが、今後も景観を損なわないよう、環境整備を行ってまいります。

問 籾摺り乾燥料金の設定が高い。もう少し低価格化できないものか。（北岡松）

答 J Aの乾燥料金設定は、籾摺り業者よりご利用しやすい単価設定にしています。稲作にはこれ以外にも様々な経費がかかりますので、総合的なコスト低減につながるよう努力いたします。

問 道の駅とAコープの米の価格が違うのはなぜか。（東内堅）

答 店舗によって特売やセールなどで価格の変動があることや、購買層が異なることからご理解いただきたいと思えます。

問 県域J Aとなると例えばの米ブランドの優位性や付加価値がなくなるのではないか。（末永）

答 すでに地域ブランドとして確立している品目や特産物は維持しながら、可能な品目は県単位で底上げを行い、県域ブランドとして確立を図っていく考えです。

問 J Aこばやしが宮崎市大塚に出店している百笑村はいつもに



9月27日 大溝原

ぎわっている。精米工場のトラックも毎日稼働しているのだからJ Aえびの市もそうした取り組みを検討してみてもどうか。（田代）

答 今後も新しい販売先・販売方法を検討してまいります。

◎資料課

問

グリーンセンター飯野店・真幸店の職員は、お客さんへの対応をもう少しよくしてほしい（あいさつ・愛想の良い対応・責任感を持った業務）。また、窓口には資料に詳しい職員を置いてほしい。（東原田、南昌明

寺、中上江）

答 グリーンセンターは、組合員・地域利用者が頻繁に来客される所です。グリーンセンター職員は常にJ Aの顔となる意識を持って業務に従事するよう指導いたします。また、園芸等多様な資料が必要ですが、それに対応できるよう研修を行い職員のスキルアップを図ります。

問

グリーンセンター・機械センターは、日・祝日は全ての営業所が休業である。資料購入ができないので、どこか1か所でも営業してもらえないか。（坂元、栗下、西郷）

答

土・日曜日のグリーンセンター営業の要望があります。働き方改革等で働く人の保護がされていますが、日曜日の営業に向けて検討・協議いたします。

問

グリーンセンター飯野店・加久藤店に比べて真幸店は資料の品揃えが少ない。また、必要な資料を買いに行っても在庫がない時が多いので在庫管理をしてほしい。グリーンセンター飯野店に資料を買いに行ったところが在庫がないと言われたが、別の職員に聞くとあると言われた。情報共有を図ってほしい。（中上江、牧の原、西郷）

答

真幸地区は他地区に比べて園芸品目・園芸農家が少ないことなどから品揃えが少ないうえに、事前に予約をしないと思われれば品揃えいたします。ま

た、それぞれの職員が在庫管理をしつかりするよう指導いたします。

問

グリーンセンター真幸店に予約していた肥料を取りに行ったが、他の人に売っていたり、在庫がないと言われた。どういことか。（西川北、南昌明寺）

答

予約された分がなくご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。今後は予約された品目の在庫は数量を確保するようにいたします。

問

グリーンセンター真幸店より「赤い札」が散布予定日の前日に送られてきた。グリーンセン



9月27日 西郷

ターによると封筒がなかったため送れなかったとのことであった。日程に余裕をもって送付してもらいたい。(南昌明寺)

問 無人ヘリ防除前には職員が現地確認をしますので事前に立札を送ります。今後はこのようなことのないよう指導を徹底いたします。

問 消費税増税により、生産コストの経費部分が増加するが、手数料を下げると対策を考えているか。(前田)

答 手数料の減額などは今のところ考えていません。毎月実施している特卖会や春・秋の展示会等をご利用いただきたいと思えます。

問 生産資材の価格低減を「近隣他県との共同仕入れによる価格交渉等でコスト削減を図りました」とあるが、近隣他県とは具体的にどこか。(灰塚)

答 農薬の除草剤・殺菌剤の2品目3規格を鹿児島県と共同仕入れしています。

問 JAは商系より肥料等の資材が高い。成分が同じトレボン乳剤が、JAは量販店より450円高い。(白鳥・永山・中内 賢)

にスポット的な価格で販売することもありますが、JAとしても商系・量販店より安価な価格での販売に努めます。

問 B肥料の値下げをみるとあるが、注文書などで価格を見る限り下がっていないようだ。肥料、農薬はどのような状況なのか。(柳水流)

答 経済連では、原料メーカーとの直接交渉などを行っています。原油や輸送費などの製造原価が上昇している中、価格の据え置きをお願いしていますが、値上げに至っている状況です。今後銘柄集約や製造体系の効率化でコスト削減を図りますのでご理解ください。

問 農薬の価格も上げ傾向ですが、ジェネリック農薬や大型規格の商品もありますのでご利用ください。

問 経済連を経由する取引によって、農家の支払う手数料がかさんでいると思われる。経済連に頼らない取り組みが必要ではないか。(北岡松)

答 リスクの問題や一体的な取り組みのため、系統利用が必要な部分もあることをご理解いただきたいと思います。農家所得の向上については経済連を含めた県域JA(県下1JA)構想を協議中です。県域JAになることで、大量仕入れによるコスト低減や販売量をもった有利販売などが可能になるか検討を進め



9月27日 東長江浦下

ています。これらを含め、今後組合員皆様の所得向上につながるよう努力してまいります。

問 JAでは堆肥は扱っていないのか。また、土着菌入り堆肥の導入も検討しては。(湯田)

答 土着菌は地域毎の山林・竹山・水田・畑等自生する菌です。各グリーンセンターで鶏糞・牛糞・豚糞の堆肥を扱っておりません。土着菌を含んだ堆肥はありませんが、一部細菌を含んだ堆肥はあります。

問 無人ヘリ防除を行う8月9月は雨が多いので時期をずらせなにか。散布後に雨が降ると効果がわからない。(飯野町・麓)

答 散布時期については、6月中旬頃、県が虫の飛来状況を発表します。これを受けて普及センターを含め関係部門で日程を決定します。雨が降れば効果はありませんので、雨が降りそうな時は中止します。

問 無人ヘリ防除は何台のヘリで散布しているのか。元年のように緊急に防除が必要になった場合、高齢者はなかなか農薬散布を行えない。JAで無人ヘリかドローンを購入すれば水稲・園芸・果樹で散布ができる。購入を検討してもらえないか。また、散布できる人や組織を作ったり、機械銀行等に対応してもらったりすることはできないか。(下大河平、堀浦、末永、上内 賢)

答 防除に使うヘリ台数は、防除申し込みされた面積で変わります。令和元年度は飯野3台加久藤・真幸各2台の計7台で散布しました。

問 無人ヘリもドローンも、JAで使うためには機体費やオペレーター育成のための講習会費等で高額の経費が必要になります。JAでの購入はできませんが、機械銀行の営農組合等で購入を検討していただき、行政を含めJAでも助成できないか検討協議いたします。

問 無人ヘリ散布を3回行ってほしい。(上上江)

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。



9月27日 東川北

答 県が発表するトビイロウンカの発生世代予測を基に、普及センターを含めた関係部門で散布の時期を決めています。散布回数も、例年であれば2回の防除で十分であるという判断で決めています。昨年のようにウンカが大発生した場合臨機的に3回目を受け付けることもあります。

問 無人ヘリのオペレーターによって飛行の高さが違う、1回目は高度が高く思われた。2回目はどうしても稲が倒れてしまう高さにより農薬の効き目が違うと思うので、職員とオペレーターとで十分打合せをして圃場を均一に散布してほしい。(山内、灰塚、永山、中内堅、南昌明)

答 農薬散布時の圃場状況、圃場周辺の状況により散布の高さに多少の違いがあるかもしれない。ヘリのオペレーターは操縦を熟知していますので、散布前には担当職員と十分打合せを行い散布にあたります。

問 無人ヘリは何台保有しているのか。無人ヘリとドローンではどちらがいいか。また、ドローンに変える計画はあるか。(山内、西内堅)

答 JAでは無人ヘリは保有していません。所有しているところに散布を委託しています。無人ヘリはエンジンで飛ぶので飛行時間が長く農薬の積載量も多く広い面積を散布できます。ドローンはバッテリーで飛ぶため飛行時間が短く農薬積載量も少なく、稼働時間は短くなります。今後も障害物のない水田では無人ヘリを利用し、住宅地・障害物のある所はドローンで散布します。

問 無人ヘリ防除の1回目と2回目の間に農薬散布が必要となったが、ヘリ防除を適期に行い害虫をしつかりと防除することはできないのか。(東川北)

答 防除散布時期は、県が発表する虫の飛来状況を基に決めます。元年の場合ウンカの飛来数および発生数が例年に比べて特に多く、8月中旬に病害虫発生警報が出たので、臨機防除をお願

いしました。ヘリ防除は成虫・幼虫には効果がありますが卵には効きませんので、必要な場合には臨機防除をお願いします。

問 ヘリ防除は、飯野、加久藤、真幸の順に防除を行っているのか。毎年同じ日程で散布しているのか。地区別の日程を検討してほしい。元年はウンカが異常発生したので、発生状況に合わせ防除の日程を変更できないか。(亀沢、上・中原田、北岡松)

答 ヘリ防除は市内3地区で同時に行っています。申込みの散布面積・ヘリの有効活用を考慮して令和2年から散布の日程を変更いたします。

問 元年は、市内全域でウンカの被害が出ました。被害地区から散布ができればよいのですが、散布日程等から難しいと思いますが、理由のようです。

問 元年の無人ヘリによる水稲防除面積は30年と比較し増えたのか。また、元年の防除面積が1回目より2回目の方が多いのはウンカ多発生の影響によるものか。(南岡松)

答 防除面積は、30年の硫黄山被害の影響で減少しましたが、元年は30年と比べて90haほど散布面積が広がりました。毎年2回目の防除面積が広がるのは、秋ウンカが9月に発生するため申込数が増えることが理由のようです。

問 ヘリ防除の際に立てる立て札を、WCSの確認用立て札と同じ紙質のものにできないのか。雨に濡れても大丈夫なものにしてほしい。(中上江)

答 立て札は雨対策に普通の紙より厚めのものを使用しています。WCSの紙は費用が3倍以上するもので、1回の防除で8千枚程度使用しなければならぬため予算的に難しい状況です。

問 飼料(イタリアンなど)の予約ができる資料を配布してほしい。(西郷)

答 畜産農家には予約注文書を配布しています。今後はJA広報誌等を含め畜産農家以外の方も予約できるように検討してまいります。

問 無人ヘリ防除の実施等広報活動も行われているようだが、広報については大通りしか通らずスピードも速く聞こえない、改善してほしい。また、市と連携して防災無線を活用するなど検討してもらいたい。(上浦、中浦)

答 ヘリ防除の実施とヘリ防除の申込をされていない方への重点防除の広報活動を行っておりま。ご意見があったことは今後注意し丁寧な広報に努めます。市の防災無線は緊急性があるものに限られるため通常は使用できませんが、元年はウンカ的大量発生で県が害虫発生警報を

◎生活課

出したため、市に依頼して8月30日防災無線で放送しました。

問 女性部はどのような人たちが入れるのか。(堀浦)

答 えびの市内外どなたでも入会できます。

問 補聴器の修理を頼んだが、忙しいということもあり一週間待たされた。高額な商品でもあるので、取り扱う会社に強く言う対応できないのか。(中浦)

答 お客様には十分な配慮を持って対応するよう指示いたしました。

問 生活資材の瓦の吹きつけでウレタンは取扱いがあるがシリコンがないので取扱えるようにしてもらえないか。(溝ノ口)

答 現在シリコンも取り扱っております。ご利用ください。

問 道の駅の来場数が多いようだが、イベントについてはどうなっているのか。(鍋倉・吉牟田)

答 夏祭りや子供祭り、新米フェアなど季節に合わせたイベントを開催しています。今後もお客様に満足していただけるイベント開催実施に努めてまいります。



9月30日 下島内

しては、行政と定期的に情報交換を行い要望してまいります。

問 道の駅の売上げ、客単価はどのようになっていくか。(坂元、京町)

答 平成30年度の実績が5億160万円でした。令和元年度は6億円を計画しています。また、客単価は1人あたり約2100円です。

問 道の駅は他の道の駅と横の連携を取っているのか。(飯野町・麓)

答 宮崎県内駅長会が年4〜5回開催され、各駅の状況など情報交換をしています。また、年1回県内全駅が販売イベントに参加し連携を取っています。

問 道の駅で露地野菜を販売しているが、同じ品物でも安く販売している方がいるので、売れ残ってしまう。(中島)

答 生産者によって品質・規格・包装は違っており、販売価格の統一はできないと思われれます。

問 道の駅の営業時間を延長できないか。特に夏場は日が長いので早く閉まってしまう印象になる。(前松原)

答 17時以降客数は減少しており、現状18時閉店が理想と考えます。

問 ゆーぱるのじりではメダカの販売をしている。このように道の駅えびのでも他にはないようなものを販売してみてもどうか。(前松原)

なものを販売してみてもどうか。(前松原)

答 自衛隊グッズ等が当駅以外にない商品だと思えます。今後更に独自性のある道の駅にするため、創意工夫してまいります。

問 ETC2.0によって、来客数に影響があったか。(前松原)

答 国の事業であるため詳細なデータは把握できませんが、来客数は増加しています。

問 道の駅えびのので堆肥を販売しているが、納めた数量と売上額が合わないことがある。監視カメラの記録をもとに調査してもらえないか。(西長江浦下)

答 監視カメラでの盗難防止対策は行っていますが、今後少しでも改善されるよう検討いたします。また、数量・売上に関してご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

問 道の駅の販売用の花を店の前の方に出してもらえないか。(上浦)

答 元年10月より、一部の商品が店舗正面に配置し、お客様より好評を得ています。今後は案内板等を増設し周知に努めてまいります。

問 道の駅に県外観光客にも分かるように霧島連山の名前を表示した看板等の設置を検討してほしい。(上浦)

答 道の駅に県外観光客にも分かるように霧島連山の名前を表示した看板等の設置を検討してほしい。(上浦)



9月30日 南岡松

答 レストラン内には設置してありますが、大きな表示板はありませんので、今後検討してまいります。

問 道の駅で、他県の物産品をなぜ置いているのか。(京町)

答 道の駅交流の一環として他県の商品を仕入販売しています。

問 道の駅について、レジ係の対応をもっとよくしてもらえないか(明るく、元気に)。県外から多くの来場者がある。えびの顔でもある。(中浦)

答 接客サービスの向上につながるように、研修会や毎日の朝礼等で周知してまいります。

◎農機燃料課

問 えびのオートパルに常時1人はいて対応をしてほしい。また休日に中古車を見たい時に見ることができない。(上島内)

答 オートパルの担当は営業を含め1名で対応していることから常駐することは難しいです。また、休業日の見学は警備上難しいため、見学を希望される場合は営業日にお問い合わせいたします。

問 JAでは鳥獣害対策で使うような金網(柵)は売ってないか(西内堅)

答 農機燃料課で取り扱っていませんのでお問い合わせください。

問 年間で多くの軽油をJAから購入しているが、良い対策はないか。(牧の原、上上江)

答 軽油は申請により免税措置があります。小林の県税事務所に申請していただければ利用できますのでご検討ください。

問 燃料配達は200L以下では配達料がかかるが、200Lは数量が多く使いづらい。高齢化対策も踏まえて配達料がかかる最低数量を少なく変更するよう検討をお願いしたい。(柳水流)

答 配達料金を見直し、100L以上の配達については配達料が

かからないように変更しましたのでご利用ください。

問 JAカード(クレジットカード)で給油した場合、どの段階で2円引きされるのか。(下浦)

答 給油を行った際のレシートでは割引表記はありませんが、口座から引落しされる時に割引されています。

問 真幸地区にはJAと民間の2か所給油所があるが、価格を比較するとJAの価格が高い。価格改定の際は価格の提示をしてほしい。(下浦)

答 燃料の価格改定は仕入れ価格の情勢により行います。改定の際はスタンド内に提示するよう検討します。

問 給油所で「3」のつく日に花鉢のプレゼントを行っているが、それよりも実用性のあるティッシュなどの日用品にしてほしい。(水流)

答 花鉢のプレゼントは主に女性の方から大変好評をいただいています。昨年まで日用品を贈呈していましたが、花鉢復活を希望する声が多く今年から再開しましたので、ご理解ください。

問 農繁期は修理待ちの農機が非常に多いが、農機の使用後は保守点検を行うといった管理指導を行うしてほしい。(東原田)

答 農機は使用後に点検管理を行

うと農機寿命も延びることとなります。今後もこれまで同様に日頃の保守点検を行うよう提案してまいります。

問 農繁期は修理が遅れたりするので、人数を増やして機械の修理を行うようにしてほしい。(永山)

答 農機修理は現在5名体制で業務を行っています。農繁期は修理が集中しご迷惑をおかけしますが、早期対応できるように努力いたします。



9月30日 柳水流

要望いたします。

問 キングが飼料稲刈取機のリースをやめると聞いたが、その場合JAでリースを行ってもらえないか。(今西)

答 キングに確認したところ、飼料稲刈取機のリースをやめることとはしないとのこと。

問 申告時にグリーンセンターで肥料と農薬の購入電算処理供給実績表をもらったが、機械センターの修理等の記載はなかった。供給実績は同じにできないか。(上・中原田)

答 農機センターの経理は電算処理システムに連動していません。申告関係書類については別途作成しますのでお問い合わせください。

◎金融課

問 JAカード(クレジットカード・キャッシュカード一体型)を作るにはどこで申請するのか。また、どのようなところで使えるのか。(今西、下浦、溝ノ口)

答 クレジットカードの申請は、各支店の貯金窓口で手続きをお願いいたします。

JAカードのクレジットカード利用可能な店舗であればどこでもご利用いただけます。JA給油所をご利用いただくと1Lあたり

2円引(ガソリン・軽油)、道の駅えびのでご利用いただくと5%割引などの特典もあります。

問 マイカーローンなどと比較して農業機械等の金利が高い。農家が特に必要としているものほど低金利にしてほしい。(白鳥)

答 農業機械等の資金は、農業近代化資金、アグリマイティー資金等低金利の資金を準備していますのでご利用をお願いします。詳しくは各支店貸付窓口にお問い合わせください。

問 年金友の会だけ演芸ショーや親睦旅行があるようだが、貯金等を利用していらっしゃる方々にも同



9月30日 中内堅

じような行事はできないのか。(西長江浦下)

答 年金友の会は一つの組織体であり、各行事はその中で計画される取り組みとなります。JAで年金のお受取りをしていたら、自動的に年金友の会の会員になります。年金友の会には様々な特典がありますので、年金のお受取りはぜひJAをご利用ください。

問 年金友の会へ入会したが、総会記念品が出席者と欠席者で違う。都合でどうしても参加できない人もいます。同じ会員なのだから一律で何かサービスを提供してほしい。(大溝原)

答 例年5月中旬に2日間年金友の会総会を開催しています。その際、粗品の配布や演芸ショー等を併せて行っています。出席できない会員に対する粗品進呈については検討してまいります。

◎共済課

問 年金共済は掛捨てではなく、貯蓄型のいい共済だがアピールはしているのか。(坂元)

答 LA等により恒常的に推進活動をしています。現在の低金利により貯蓄性のみを訴求することは難しい状況です。老後資金への備え、個人年金保険料控除および最低利率の保証等につ

いて周知を行っております。



10月1日 水流

問 12月より共済の事故処理体制が変わったとのことだが、どのように変更したのか。また初期対応が遅れるようなことはないのか。(駅前・倉元・元地原・神社原・梨園・末永、今西、鍋倉・吉牟田)

答 事故後の損害調査や示談交渉などはJA共済連が行いますが、事故発生時の初期対応は今までもおり当JAの担当者が行いますので事故発生時の連絡先等の変更はありません。事故処理体制は変更となりましたが、今後引き続きご契約者様にご満足いただけるよう、JA・JA共済連一体となって更なる安心を

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

提供してまいります。

問 以前、物損事故を起こしてしまつた際に共済を使つたが、次年度の掛金がかかり上がつてしまつた。なぜそんなに上がるのか。(末永)

答 事故原因にもよりますが、通常共済を使うと掛金の割引等級が3等級下がつてしまいます。共済を使つた後の掛金の上り幅と損害額を照合し、どちらがお客様の負担が少なくなるか等のアドバイスは行つております。

問 年金共済は、免許証ではなく健康保険証の掲示で支払つてもらうことはできないか。(栗下)

答 健康保険証での受け取りの場合、保険証の他に公共料金の領収書等の提出が必要です。

問 全国的に台風や大雨の被害があるが、建物共済の掛金が上がる予定はあるか。(西長江浦上)

答 建物共済の掛金については、現在引上げの予定はありません。

問 現在、高齢化等から農業収入が減少してきている。JA共済はJA組合員のためのものでもあると思うが、自動車共済等、他社の方が安いのでは。JAの共済金は安くならないのか。(上浦)

答 他社はネットサービス等による値引きを行っている状況です。

JAとしても今後共済連へ掛金の引下げ等について要望していきます。

問 熊本で事故を起こしたときJA共済の担当者が親身になって対応してくれたが、事故の過失割合はどこが決められているのか。民間とJA共済はそれに応じて補償するのか。(亀沢)

答 事故を起こした際の過失割合については、事故状況を踏まえ過去の裁判事例に基づきJAと相手保険会社が協議のうえ決定しており、決定した過失割合に応じて補償を行つております。

◎総務課

問 平成30年8月に見舞金を受取つたが、今年はないのか。(京町)

答 令和元年は見舞金はありません。

問 県域JAになるのはいつか。(上上江)

答 令和6年4月に県域JA設立となりますが、現行の体制を維持した運営を行う予定です。

問 県域JAの進捗状況を教えてください。(大明司、田代、灰塚、山内、溝ノ口)

答 令和元年10月1日に組織整備委員会にて県域JA草案の中間と

りまとめを協議し、10月30日、31日に組合員代表との意見交換会を実施しました。意見交換会で出された意見等を反映させ、令和2年1月に県域JA草案を決定後、令和2年10月以降に各JAと組合員の皆さまが意見交換を行う予定です。

問 県域JA構想はJAの合理化のために行うものなのか。(湯田)

答 昨今の人口減少・組合員減少に対応するためのものであります。また、大量入荷・大量購入によるスケールメリットもあり今回の構想となりました。

問 県域JAになった場合JAえ

びの市職員の人員削減等はあるのか。また、資材等の価格にバラつきが出てくるのか。(湯田)

答 基本的には現行のサービスを継続しますので、人員削減はありません。価格は均一になるよう進めていきます。

問 県域JAになった際にえびの産米が他の産地の米と一緒に扱われる懸念があるがどうか。(湯田)

答 現行の地域ブランドは維持していきますので、他産地と同じ扱いにはなりません。

問 県域JA構想は国の農協改革の影響を受けたものなのか。(湯田)

答 宮崎県内のJAは、信用事業・共済事業の譲渡を行わず、総合事業を選択しているため、国の政策の影響を受けたものではありません。

問 県域JA構想を進めていく上で、現在県内JAでライスセンター等各種価格に差はあるものなのか。(中内堅)

答 各JAそれぞれに特色があり、各種価格のバラつきがあります。

問 行政との連携協定はどのような形になっているか。(溝ノ口)

答 令和元年10月9日にえびの市と事業連携協定を締結しました。基幹産業である畜産部門での



10月1日 中浦



10月1日 北昌明寺

問 技術員の定着率が悪い（離職率が高い）。特例として何らかの優遇措置や免除があれば離職の歯止めになるのではないかと、畜産指導員の中間層がいないので先を見据えた人材育成に努めてほしい。（高野）

答 畜産指導員の優遇措置等については貴重なご意見として賜ります。雇用についても人事等の兼ね合いもありますが、人材育成と併せて、今後の課題として報告させていただきます。

問 座談会の出席人数が少ない。昼間開催も検討してはどうか。（湯田）

答 座談会開催前の7月に自治会長さんに打診しています。要望

があれば対応はいたします。

問 総代会が4月下旬に行われるが、時期を早めて実施してほしい。（山内）

答 例年4月25日前後で開催しています。前年度の実績数値が確定するのが2月末であり、理事会、決算監査等を経て総代会資料作成に入ることから、4月末の開催となっております。ご理解願います。

問 J Aの口座引き落としはキャッシュレス決済と同様5%還元があるのか。（飯野町・麓）

答 J Aの口座引落はキャッシュレスの対象にはなりません。

問 キャッシュレス決済は様々な割引やポイントがあるが、Aコープ、J Aではキャッシュレスで対応できないのか、今後はどう考えているのか。（前田）

答 Aコープは独自のカードでポイント還元セールやポイント5倍デー等を行っています。J Aは、給油所と道の駅えびのでクレジットカードをご利用いただくこととキャッシュレス決済の対象となります。

問 私たちが貯金した貯金額はどのように運用しているのか。（中上江）

答 管内組合員への融資と、信連に預けています。

問 農家ではない人が農事推進部

長をしているが、農家がしな

いと意味がないのではないかと

問 J Aからのお知らせ等を回覧板にお願いしている関係から、自治会長さんに農事推進部長をお願いしています。（尾八重野）

答 J Aからのお知らせ等を回覧板にお願いしている関係から、自治会長さんに農事推進部長をお願いしています。

問 旧給食センター跡地の今後の使用状況を教えてほしい。（飯野町・麓、溝ノ口）

答 跡地の一部をえびの市から賃借して、Aコープいいの店の駐車場として活用する予定です。

問 本店にエレベーターをつけてほしい。（苧畑）

答 導入や維持管理にかかる費用が多額となることから、設置しておりません。

問 TPP、EPA等の価格対策はJ Aで行っているのか。（中上江）

答 牛肉等の輸出を強化する目的でミヤチク都農工場を新設し、ヨーロッパ向けの輸出ができるようになりました。またアカデミーショーの場等でPRするなどの努力をしています。

問 米については輸出の基準が厳しくハードルが高い状況です。なお、J Aでは米の集荷努力を行い、取引先への販売強化を図っています。組合員の皆様につきましては1袋でも多くJ Aへ出荷いただきますようご協力をお願いします。

◎その他

問 あんしんの会の会費の支払い度は1度だけでいいのか。（苧畑）

答 あんしんの会は1度の会費で加入することができます。

問 ジェイエイ葬祭のプリエール「あんしんの会」会員の特典について花環の割引があるが、最近あまり目にしないので、生花を対象にするなど他の特典を考えてほしい。（白鳥）

答 「あんしんの会」の特典は、花環の他に燈籠の2割引（会員本人の名前が名札に入っている場合）があります。生花につきましては対象となりませんのでご了承ください。

問 ジェイエイ葬祭のプリエール「あんしんの会」会員の特典について花環の割引があるが、最近あまり目にしないので、生花を対象にするなど他の特典を考えてほしい。（白鳥）

答 「あんしんの会」の特典は、花環の他に燈籠の2割引（会員本人の名前が名札に入っている場合）があります。生花につきましては対象となりませんのでご了承ください。

問 ジェイエイ葬祭のプリエール「あんしんの会」会員の特典について花環の割引があるが、最近あまり目にしないので、生花を対象にするなど他の特典を考えてほしい。（白鳥）

答 「あんしんの会」の特典は、花環の他に燈籠の2割引（会員本人の名前が名札に入っている場合）があります。生花につきましては対象となりませんのでご了承ください。



10月1日 溝の口